

「神奈川県医療費適正化計画」

(平成30(2018)年度～平成35(2023)年度)

今後、高齢者の増加により、医療費の増加が予想されますが、誰もが安心して医療を受けられる「国民皆保険制度」を維持し、将来にわたり持続可能なものとするために、医療費の伸びが過度に増大しないようにしていく必要があります。

神奈川県では、本格的な高齢社会の到来に対応しながら、県民の健康の保持・増進と生活の質の維持・向上に取り組むことにより、誰もが安心して医療サービスを受けられるよう医療費の伸びの適正化を目指してまいります。



「神奈川県医療費適正化計画」は県ホームページでご覧いただけます。

県ホームページ

神奈川県医療費適正化計画

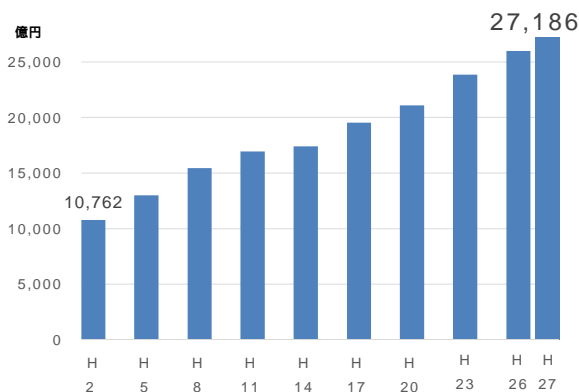
検索 

神奈川県医療費を巡る状況

神奈川県医療費の主な特徴として、全国値と比べ、**県民の一人当たり医療費が低くなっています**が、**医療費の3年前に対する伸び率が高くなっています**。

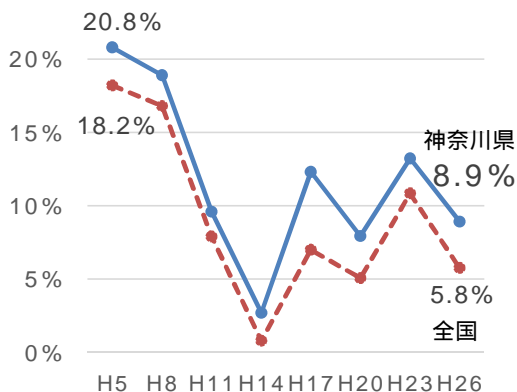
今後、他の都道府県を上回る**急速な高齢化**が見込まれることから、一人当たり医療費の高い後期高齢者医療費の割合が増加することにより、**県民医療費が他の都道府県を上回る伸び率で増加**することが予想されます。

神奈川県の県民医療費の推移



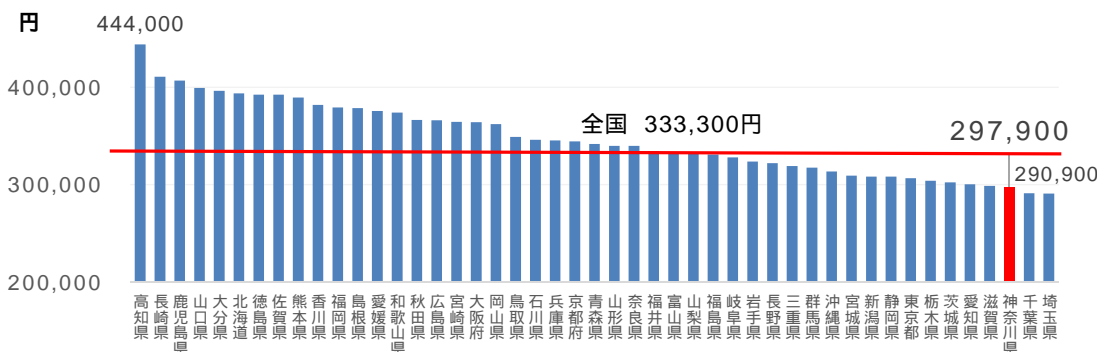
厚生労働省 国民医療費 (平成2~27年度)

県民(国民)医療費の対3年前比の推移



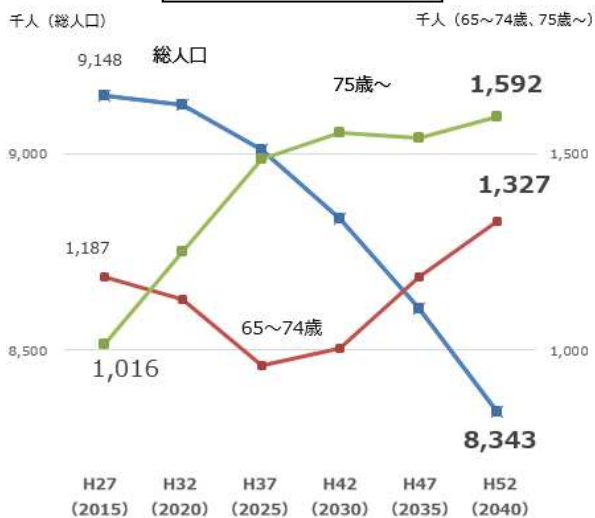
厚生労働省 国民医療費 (平成5~26年度)

都道府県別の一人当たり都道府県民医療費



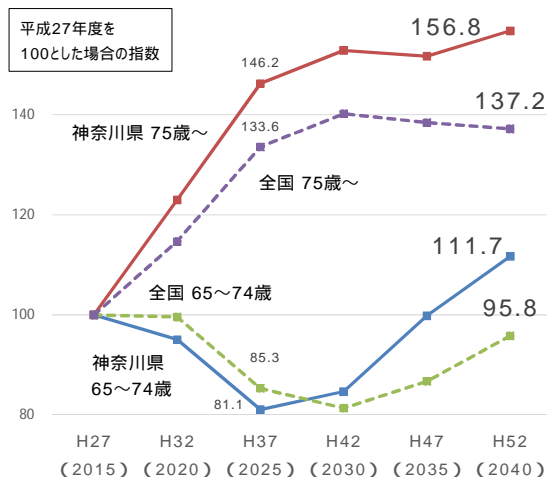
厚生労働省 国民医療費(平成27年度)

神奈川県の将来人口推計



国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口 (平成25年3月推計)

高齢者の将来推計人口



国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)
国立社会保障・人口問題研究所 日本の将来推計人口 (平成29年推計)

重点的に取り組む課題

健康の保持の推進に向けて、生活習慣の改善を促す取組や予防の重要性を普及・啓発する取組を通じ、健康づくりを推進していくことが重要です。

医療の効率的な提供に向けて、病床機能の分化及び連携、地域包括ケアシステムの体制づくり、後発医薬品の使用促進、医薬品の適正使用の推進、適正な受診の促進に取り組んでいくことが重要です。

計画の目標

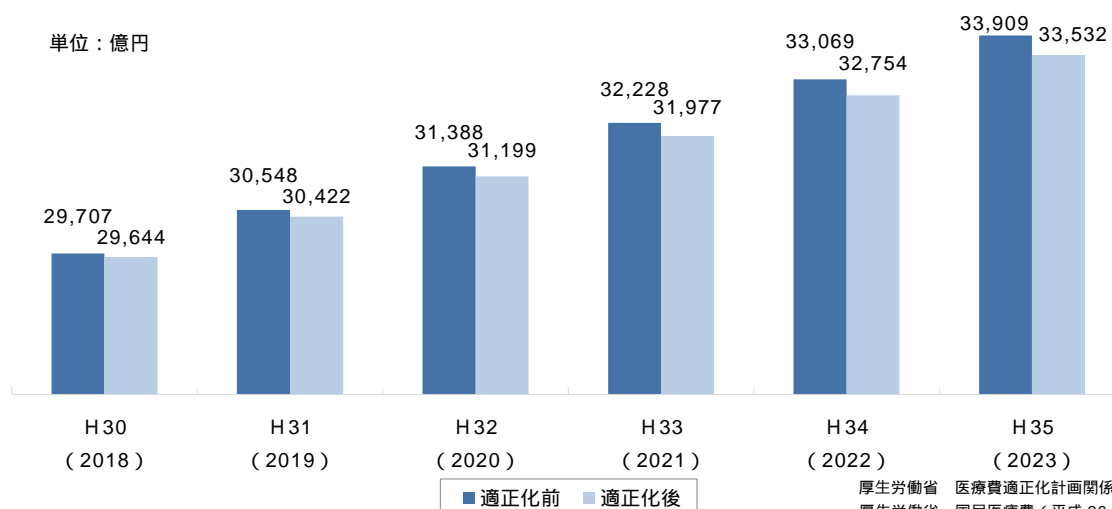
次の目標を設定し、目標達成に向けた取組を通じて、医療費の伸びの適正化を目指します。

県民の健康の保持の推進に関する目標	平成35(2023)年度目標
特定健康診査の実施率	70%以上
特定保健指導の実施率	45%以上
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群（特定保健指導対象者）の減少率	平成20年度比25%以上
生活習慣病（糖尿病）の重症化予防	糖尿病有病者数の増加の抑制 22万人（ ）
	糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数の減少 925人（ ）
80歳（75～84歳）で自分の歯を20本以上持つ人の割合	65%（ ）
たばこ対策	成人喫煙率 男性 21.5% 女性 4.4%（ ）
	公共的施設で受動喫煙を経験した人の割合 9.8%
がん検診	がん検診受診率 胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん・子宮頸がん 50%
予防接種	風しんに係る普及啓発及び大人の風しん予防接種の推奨
医療の効率的な提供の推進に関する目標	平成35(2023)年度目標
後発医薬品の使用割合	80%以上
医薬品の適正使用の推進	・ かかりつけ薬剤師・薬局の普及・定着 ・ 医薬品の適正使用に係る理解と普及

平成34（2022）年度目標

医療費の見込み

医療費適正化の取組を行うことにより、平成35（2023）年度に約377億円の医療費の伸びの適正化が図られる見込みです。



施策の展開

次の施策に取り組むことにより、計画の目標の達成を目指します。

県民の健康の保持の推進に向けた取組 (未病対策等の推進)

未病対策等の推進

- ・未病を改善する取組の推進
- ・糖尿病の重症化予防
- ・認知症未病対策
- ・歯科保健対策
- ・たばこ対策
- ・がん検診の受診促進

保険者等による健康づくりの推進

- ・特定健康診査・特定保健指導の推進及びその支援
- ・効果的・効率的な保健事業の実施

予防接種の推進

医療の効率的な提供の推進に向けた取組

病床機能の分化及び連携

- ・病床機能の分化及び連携
- ・疾病別の医療連携体制の構築
- ・事業別の医療体制の整備・充実
- ・地域医療連携

地域包括ケアシステムの推進

後発医薬品の使用促進

医薬品の適正使用の推進

適正な受診の促進等の取組

計画の目標の達成（医療費の適正化）

計画の推進体制・役割と評価

本計画の推進に当たり、学識経験者や医療関係者等からなる神奈川県医療費検討委員会において、医療費の現状把握、本計画の評価・見直しなどに関する協議・検討を行うとともに、関係者それぞれが主体的に各施策に取り組むよう努めながら計画の推進を図ります。

計画に掲げた目標について、国の統計資料等を活用して、進捗状況の公表や実績の評価などを行います。

H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	H35 (2023)	H36 (2024)
本計画期間						次期計画期間
進捗状況の公表					進捗状況に関する調査及び分析 (暫定評価)	実績の評価